資料１

第９期
上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
計画の振り返り

第９期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に記載された事業の実施状況を評価し、課題等を整理しました。

【評価基準】
Ａ：計画通り事業を実施できた
Ｂ：ほぼ計画通り事業を実施できた
Ｃ：事業を実施できなかった
Ｄ：事業を廃止した

基本目標１　地域ネットワークの強化

施　策	Ａ評価	Ｂ評価	Ｃ評価	Ｄ評価
（１）地域課題解決体制の深化	0	3	0	0
（２）相談体制の充実	1	1	0	0
（３）見守り体制の充実	1	2	0	0
合計	2	6	0	0

【現状と課題】

Ａ評価が２事業、Ｂ評価が６事業となっています。
日常生活圏域（10圏域）ごとに地域包括支援センターを設置し、市民が身近な場所で相談できる体制を整えてきました。
一方で、個別地域ケア会議で抽出した課題を全市的な地域包括ケアシステム推進協議会へ集約し、施策や社会資源の開発につなげる連携強化が必要となっています。

基本目標２　生きがいの創出

施　策	Ａ評価	Ｂ評価	Ｃ評価	Ｄ評価
（１）生きがい活動の支援	1	1	0	0
（２）社会参加の支援	0	2	0	0
（３）敬老事業の継続	2	1	0	0
合計	3	4	0	0

【現状と課題】

Ａ評価が３事業、Ｂ評価が４事業となっています。
外出機会の創出として、アッピー元気カードの配布枚数を増やし、協力店舗も拡大してきました。また、総合福祉センターにて健康相談やシルバーゲームスポーツのレクリエーションを実施しました。
一方で、敬老事業における「金婚式（50年）」「ダイヤモンド婚式（60年）」といった長年連れ添った夫婦を祝う慣習は、内縁や離婚、再婚、死別、LGBTQなど夫婦等の形が多様化している現状には必ずしも適合せず、今後の課題となります。

基本目標３　介護予防の推進

施　策	Ａ評価	Ｂ評価	Ｃ評価	Ｄ評価
（１）介護予防サービスの利用促進	0	2	0	0
（２）地域による介護予防活動の推進	0	3	0	0
（３）健康づくりの推進	1	3	0	0
合計	1	8	0	0

【現状と課題】

Ａ評価が１事業、Ｂ評価が８事業となっています。
特定健診の結果をもとに、保健師や管理栄養士による特定保健指導（積極的支援）を実施しました。また、市政出前講座での健康教育や専門職による健康相談を実施しました。
一方で、介護予防に関心があっても行動に移せていない高齢者（男性や閉じこもり傾向の方）の主体的な参加を促す情報発信に加え、出向型教室の充実や通いの場を牽引するリーダー養成等による地域活動の定着・継続支援が必要となっています。

基本目標４　在宅生活支援の充実

施　策	A評価	B評価	C評価	D評価
（１）住まい・移動の支援	0	2	0	0
（２）在宅生活高齢者・家族介護者に対する支援	1	2	0	0
（３）在宅医療・介護連携の推進	0	2	0	0
（４）災害や感染症対策の体制整備	1	1	0	0
合計	2	7	0	0

【現状と課題】

Ａ評価が２事業、Ｂ評価が７事業となっています。
緊急通報システムなどの市独自の高齢者福祉サービスについて、ケアマネジャーへの周知に努めてきました。
一方で、各種在宅支援手当等の適正管理や見守りシール等の周知徹底が課題となっており、さらに、ヤングケアラーやダブルケアを含む家族介護者の多様なニーズに応えるため、啓発活動や他部局との情報連携体制の確立が求められます。

基本目標５　認知症との共生・予防

施　策	A評価	B評価	C評価	D評価
（１）認知症との共生	0	3	0	0
（２）認知症の予防	0	2	0	0
合計	0	5	0	0

【現状と課題】

Ｂ評価が５事業となっています。
認知症ケアパス（概要版）の配布を継続。さらに、認知症サポーター養成講座の開催支援のほか、市主催でも実施してきました。
一方で、認知症への理解の促進や認知症サポーターの活躍の場づくり、認知症カフェ等の未参加者へのアプローチが課題となっています。また、認知症が疑われる高齢者への早期対応に向け、初期集中支援チームと医療機関の連携充実やスクリーニングによる早期発見体制の構築が求められます。

基本目標６　権利擁護の推進

施　策	Ａ評価	Ｂ評価	Ｃ評価	Ｄ評価
（１）高齢者の権利擁護	1	1	0	0
（２）成年後見制度の利用支援	0	1	0	0
（３）成年後見制度の利用促進	0	4	0	0
合計	1	6	0	0

【現状と課題】

Ａ評価が１事業、Ｂ評価が６事業となっています。
民生委員をはじめ社会福祉協議会や地域包括支援センターなどに消費者被害防止に関するチラシや冊子を配布し、最新の事例について周知、啓発を行ってきました。
一方で、身寄りのない高齢者への「市長申立て」の適切な実施や成年後見人等報酬助成金の周知、中核機関を拠点とした市民向け講座や専門職による相談体制の充実が必要となっています。

基本目標７　介護保険制度の適正運営

施　策	Ａ評価	Ｂ評価	Ｃ評価	Ｄ評価
（１）介護サービス基盤の整備	0	0	1	0
（２）要介護認定・給付の適正化	1	1	0	0
（３）円滑な事業運営の推進支援	3	0	0	0
（４）効果的な施策の立案と反映	1	0	0	0
（５）人材の確保・定着	2	0	0	0
合計	7	1	1	0

【現状と課題】

Ａ評価が７事業、Ｂ評価が１事業、Ｃ評価が１事業となっています。
多くの事業は、計画通り実施できています。
（看護）小規模多機能型居宅介護及び認知症対応型共同生活介護について、募集したものの事業者からの応募がなく、施設整備が進んでいない状況となっています。